

鬼の館

北上市立

だより

2024(R6).10

第61号

大江山酒呑退治



開館30周年記念特別展「酒呑童子展」

会期：8月3日(土)～10月20日(日)

開館30周年記念特別展「酒呑童子展」を開催中です。平安時代に大江山（現・京都府福知山市）を棲み処とし、都の人々に恐れられていた日本で最も有名な鬼、酒呑童子（しゅてんどうじ）の資料を展示しています。当館と深いかかわりがある「日本の鬼の交流博物館（京都府福知山市）」から資料を特別にお借りしております。錦絵や鬼瓦のほか、酒呑童子絵巻の巨大フォトスポットなど京都でしか見ることができない貴重な資料ばかりです。ぜひ一度ご来場ください。

鬼の館令和6年度上半期をふりかえって

開館30周年記念事業を終えて

主任学芸員 澤藤 浩司

周年記念のオープニングを飾る行事として6月1日に記念式典が、また23日には日本現代詩歌文学館でシンポジウムが盛大に開催されました。



■「開館30周年記念式典」6月1日(土) 10:00~11:30

記念式典は、和賀東中学校特設剣舞部による礼舞で賑やかに開会し、芸能公演では岩崎鬼剣舞による一人加護と滑田鬼剣舞による三人加護が披露され、約150人集まった関係者や一般参加者たちを楽しませました。八重樫浩文市長は「鬼の館を一つの拠点として北上市の鬼文化や鬼にまつわる情報を全国に発信するとともに、鬼の研究施設としてさらなる飛躍を目指していく」とあいさつしました。

■「開館30周年記念シンポジウム」6月23日(日) 13:00~16:30

「民俗芸能と鬼」をテーマに基調講演・パネルディスカッション・芸能公演が行われました。

基調講演では、佛教大学教授で世界鬼学会会長の八木透先生が「鬼と日本人」と題して日本の鬼の歴史について講演されました。パネルディスカッションは、日本の鬼の交流博物館の村上誠館長、東北文化財研究所の阿部武司所長、岩崎地区青年部虹色の会「絆」の小原和弘会長の3名のパネリストと、ファシリテーターとして鬼の館協議会の中嶋奈津子委員、アドバイザーとして八木透先生を迎えて、「鬼をめぐる現在・未来」をテーマにこれまでと今後の「鬼」の活用等について語って頂きました。芸能公演は北藤根鬼っ子剣舞、早池峰岳神楽、北上翔南高等学校鬼剣舞部の3団体にご披露頂きました。

「鬼」について知り、考え、感じることのできるシンポジウムでした。



開館 30 周年記念特別芸能公演

今年度は開館 30 周年事業として 3 回の特別芸能公演を開催いたしました。県内の民俗芸能団体が鬼の館に集い、演目を披露していただきました。

■「大乗神楽大会 大乗の会」6月 16 日(日)



篠館大乗神楽
七五三切り

北上市と花巻市北笛間地区に古くから伝わる大乗神楽には、寺院本尊の御開帳や別当の代替わりなど特別な時に全演目を舞う「大乗会（だいじょうえ）」があります。大乗神楽大会としても 30 回目の節目の年となる今回は「大乗の会（だいじょうのかい）」と称して、全 33 演目中 20 演目を約 10 時間にわたって披露されました。大乗会でしか舞うことのない「鬼門」や「天王」などといった演目や飾りつけ（大乗飾り）が行われ、例年とは一味違った特別な雰囲気での公演となりました。

■「北上・みちのく芸能まつり GEINO 女子公演 in きたかみ」6月 29 日(土)

今回で 4 回目の開催となる北上・みちのく芸能まつり GEINO 女子公演 in きたかみは鬼の館開館 30 周年に合わせ、特別に鬼の館で公演を行いました。女性を中心とした県内 8 団体による芸能公演を披露いただきました。当日は猛暑の中、500 人もの観客で賑わい、女性ならではの柔らかさやしなやかな動きに見入っていました。民俗芸能は男性が多い印象があるかもしれません、女性の演者も増えてきています。女性の熱気あふれる活躍は、民俗芸能の更なる発展を予感させてくれる圧巻の公演でした！



ふるさと芸能集団いろは くらまいま
鞍馬舞

■「集え若人～岩手の民俗芸能～」6月 30 日(日)

6月 1 日より始まった鬼の館開館 30 周年イベントのラストは若者を中心とした県内 10 団体による芸能公演でした。当日は若者のエネルギーッシュな公演を見ようと、1,352 人の観客が集まり、大盛況で周年事業のラストを飾っていました。後継者不足問題が聞こえる中、若者の躍动感あふれる公演は伝統芸能が未来へつながっていく道しるべを示してくれているかのようでした。



岩泉高等学校郷土芸能同好会 中野七頭舞
なかのななずまい

新任の御挨拶 館長 後藤幸生

4月から館長に着任しております後藤幸生と申します。今年度は開館30周年の節目の年に当たり、記念行事を運営していくのに、鬼の館をあまり語れない私は、重役を担うことになったなあと、少し不安になっておりました。しかし、事業を進めるにつれ、地元の皆様方や関係団体の方々に多大なご協力をいただき、無事各種行事を滞りなく終えることができました。本当に関係いただいた皆様方には感謝申し上げます。改めて皆様方一人ひとりの鬼の館への思いが、30年間北上の宝として運営できた理由であると感じたところであります。

微力の私でございますが、鬼の館を運営するすべての方々、そして鬼の館を愛する皆様方と手を取り合いながら次の10年に向け、魅力ある鬼の館を築き上げてまいりますので、今後とも応援をよろしくお願ひいたします。

主査 和泉杏奈

4月から鬼の館に配属となりました和泉(わいづみ)と申します。北上育ちですが、正直あまり鬼の館へ来たことがなく・・。今回配属となり、鬼の歴史など見ていると改めてその魅力に気付かされているところです。特に鬼剣舞や神楽など民俗芸能を間近に見ることができ、団体による違いや、舞に込められた意味などを知ることができました。まだまだ分からぬこともありますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

夏休みワークショップ



今年度も夏季工作ワークショップを開催しました。8月10日は、恒例の「鬼剣舞和紙お面づくり」です。張り子のお面を作成し色を塗る「全行程の部」と、お面に色を塗る「色塗りの部」を

実施しました。参加児童10名は、最後まで取り組み完成させることができました。8月11日は「鬼張り子づくり」を開催しました。参加した小学生8名は、張り子の型をジャガイモにして挑戦しました。難しい工程もありましたが、集中して張り子制作に取り組みました。

わくわくイベント

今年も、5月5日子供の日に恒例のわくわくイベントを開催しました！デザインを自分で考え、世界にひとつだけの万華鏡をつくる「鬼っ子万華鏡づくり」、自分の希望する色の面をつくる「鬼剣舞和紙面づくり」、鬼に扮して記念写真を撮る「コスプレでGO！」、そして「鬼の秘密をさぐれ！（クイズラリー）」を実施し、盛況のうちにイベントを終えました。「鬼っ子万華鏡づくり」と「鬼剣舞和紙面づくり」では、親子での参加が多く、親子で協力しながら、時にはお父さんお母さんの方が真剣になりながら、楽しく作品を作っていました。



鬼っ子わんぱく講座「ちょこっと体験」

好評につき昨年度の冬から本格的に実施しております「鬼剣舞ちょこっと体験」ですが、今年度も大盛況で、3日間の体験会で参加者的人数は、延べ人数で243人でした！できるだけ多くのみなさまに鬼剣舞への興味関心をもっていただくことを目的に実施しておりますので、今のところ順調に進んでいるかと思います。今年の夏は、クーラーが効いていても鬼剣舞をちょこっと踊っただけで汗だくになるような猛暑でしたが、講師の岩崎鬼剣舞保存会の皆さまが、参加者の様子に気を配り適宜、休憩を入れながら教えてくださったので、参加した皆様はヘロヘロになりながらも最後まで笑顔で楽しそうに踊っていました。



30周年記念特別ギャラリー展

「岩手の民俗芸能を題材とした作品展覧会」



特別ギャラリー展のようす

民俗芸能の保護継承と発展を「民俗芸能ファン」の立場から応援する展覧会として、9組の皆さまから鬼剣舞や鹿踊などの岩手県内の民俗芸能を対象にした写真資料の展示を行いました。民俗芸能を踊る風景をはじめとして、演技前の後ろ姿など、ファンならではの目線から撮影された写真などが飾られ、民俗芸能ファンだけではなく踊り手からも作品を鑑賞して、感心したという声が多く寄せられました。

鬼カフェ No.18

30周年記念特別ギャラリー展「岩手の民俗芸能を題材とした作品展覧会」を企画いただいたツノナシ（代表者：高橋 有未）さんに、活動内容についてお話を伺いました。

「ツノナシ」とは、活動名称で鬼柳在住です。主な活動は展覧会企画運営です。2018年頃から活動を始めました。民俗芸能の写真撮影や、ものづくりをしている人達が作品を見てもらうことと同時に、交流できる場をつくりたいと考えて企画しました。コロナ前に一度、展覧会を企画しましたがコロナ情勢により中止しました。その後、同人誌を発行し、鬼の館に同人誌の寄贈をしたことがきっかけで、ギャラリー展での開催に至りました。今回の鬼の館での展覧会が、第1回の開催となります。今後も、発表の場として展覧会を企画し、民俗芸能の記録の一端を担っていきたいと思っています。

ツノナシ
(代表者)
高橋
有未
(ゆ
み)
さん



令和6年度 下半期事業のお知らせ

■企画展

- 11月16日(土)～2月16日(日)
開館30周年記念特別企画展
「奥州舞草刀とみちのくの名刀展」

■芸能公演

- 10月 6日(日) 飯豊鬼剣舞少年団
谷地鬼剣舞
- 10月27日(日) 鬼柳鬼剣舞
- 11月 3日(日・祝) 滑田鬼剣舞
- 12月15日(日) 岩崎鬼剣舞

■体験会・講座

- 12月～1月 冬休みワークショップ ※要申込
- 2月～3月 冬季鬼っこわんぱく講座
鬼剣舞ちょっと体験会
鬼学講座 ※要申込

■イベント

- 2月2日(日)福豆鬼節分会

※事業は急な中止や内容変更等がありますことを、ご了承願います。



上半期事業報

●30周年事業

記念式典	(6月1日)	150人
シンポジウム	(6月23日)	250人
記念芸能公演	(6月29日)	500人
	(6月30日)	1,352人

●企画展・特別展

開館30周年特別ギャラリー展 4,012人
「岩手の民俗芸能を題材とした作品展覧会」
4月6日～6月2日
開館30周年特別企画展
「酒肴音」展 8月2日～10月20日 開催中

● 英能公演

4月28日	北藤根鬼剣舞	131人
5月3日	鬼柳鬼剣舞め組	198人
	黒沢尻鬼剣舞	
7月14日	黒岩鬼剣舞	145人
7月28日	口内鬼剣舞	120人
8月3日	北上みちのく芸能まつり公演	274人
8月13日	岩崎鬼剣舞	160人
8月25日	相去鬼剣舞	121人

9月8日	二子鬼剣舞	163人
9月22日	御免町鬼剣舞	人
●開館30周年大乘神楽大会「大乘の会」		
6月16日		400人

●逢魔が時ナイトミュージアム

9月7日	80人
鬼っこわんぱく講座	参加者数
5月5日 わくわくイベント	98人
鬼剣舞ちよこっと体験 (参加延べ人数)	

7月21日 73人
8月11日 81人

9月11日	31人
9月1日	89人
鬼ッズ・プレミュージアム	4月1日～9月15日
和紙お面づくり	人
鬼剣舞衣装着衣体験	人
夏休みワークショップ	
8月10日 鬼剣舞和紙お面づくり	10人
8月11日 張り子鬼づくり	8人

利用案内

開館時間 午前9時から午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日

- ・12月～3月の月曜日
- ・12月～3月の国民の祝日の翌日
(土・日・月曜日の場合は火曜日)
- ・館内整理日 (11月27日～11月30日)
- ・年末年始 (12月28日～1月4日)

交通利用

- ・JR北上駅より車で約20分
- ・東北自動車道「北上江釣子I.C.」秋田自動車道「北上西I.C.」よりともに車で約15分

觀 覧 料

区分	個人	団体 (20名以上)	共通観覧券
一般	500円	400円	700円
高校生	240円	180円	300円
小・中学生	170円	120円	200円

*未就学児は無料です。

*共通観覧券は鬼の館のほか、北上市立博物館、北上市立利根山光人記念美術館でご利用いただけます。各施設1回ずつ観覧でき、有効期限は発効日より1年間です。

*定住自立圏(北上市、奥州市、金ヶ崎町、西和賀町)に居住する小中学生は無料となります

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は無料となります。手帳をお持ちの方1名につき、付添の方1名も無料となります。

*北上市消防団員は無料となります。団員1名につき同行者5名まで無料です。受付の際に、消防団員カードをご提示ください。

学芸ルームのかたすみで

今年、鬼の館は30歳になりましたが、鬼の館は、まだまだ若い！！ 魅力はもつともつとこれからでしょう！

(愛)

北上市立鬼の館だより

第 61 号 2024(R6). 10. 1

編集・発行 北上市立鬼の館

〒024-0321 北上市和賀町岩崎16地割131番地

TEL 0197(73)8488 FAX 0197(73)8508